（中国丙01）
インフルエンザ
発生推移
＝ 2023年4月度 ＝

発表：2023年05月25日環球時報

作成：2023年05月29日
日中医療衛生情報研究所

インフルエンザの分類について

- ここには一般の季節性インフルエンザと（2013年11月分以後の）H1N1型が含まれている。
- 中国でしか感染者が出ていない
  H5N6や、
  H9N2の患者については、

界面サイトでのH5N6患者に関する記述から、
「その他感染症」に分類されていることが判明しました
⇒　https://www.jiemian.com/article/5659382.html
の最終パラグラフご参照ください。

インフルエンザの特徴

2008年からこれまでを振り返ってみると、

　年間4万人（2009年）から350万人（2019年）までと振幅が大

コロナとインフルエンザの関係についての疑問:

　　2019年12月は1,199,771人

　　2020年01月は　986,543人

この2か月連続100万人という状況を、

衛生当局は検査体制の向上によると主張。

これに対し

　　2020年12月は　23,546人

　　2021年01月は　20,232人 となった

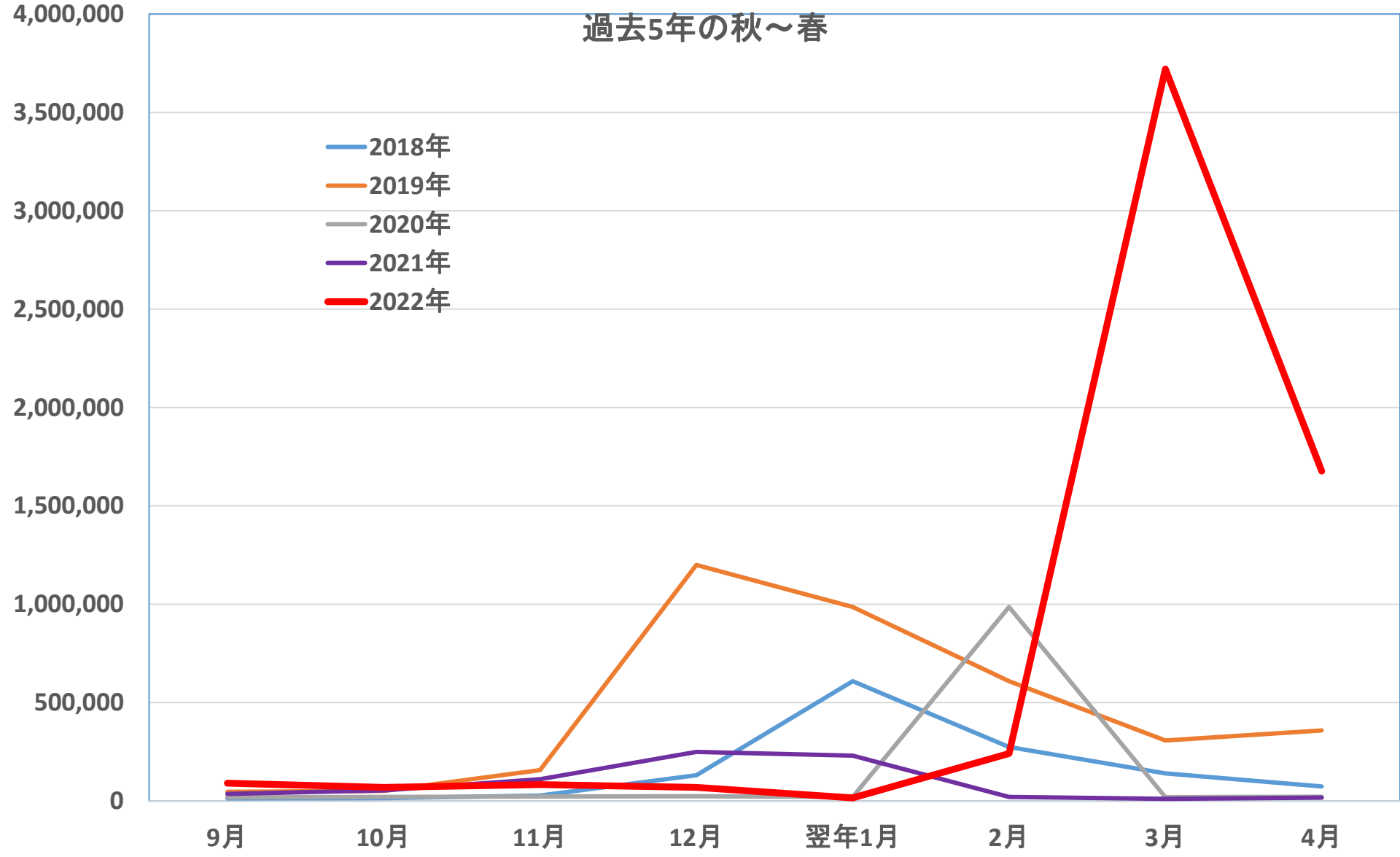
謎が一層深まる数字が飛び出した感じ:

’19年末の急増にコロナ患者が含まれていたのでは？…

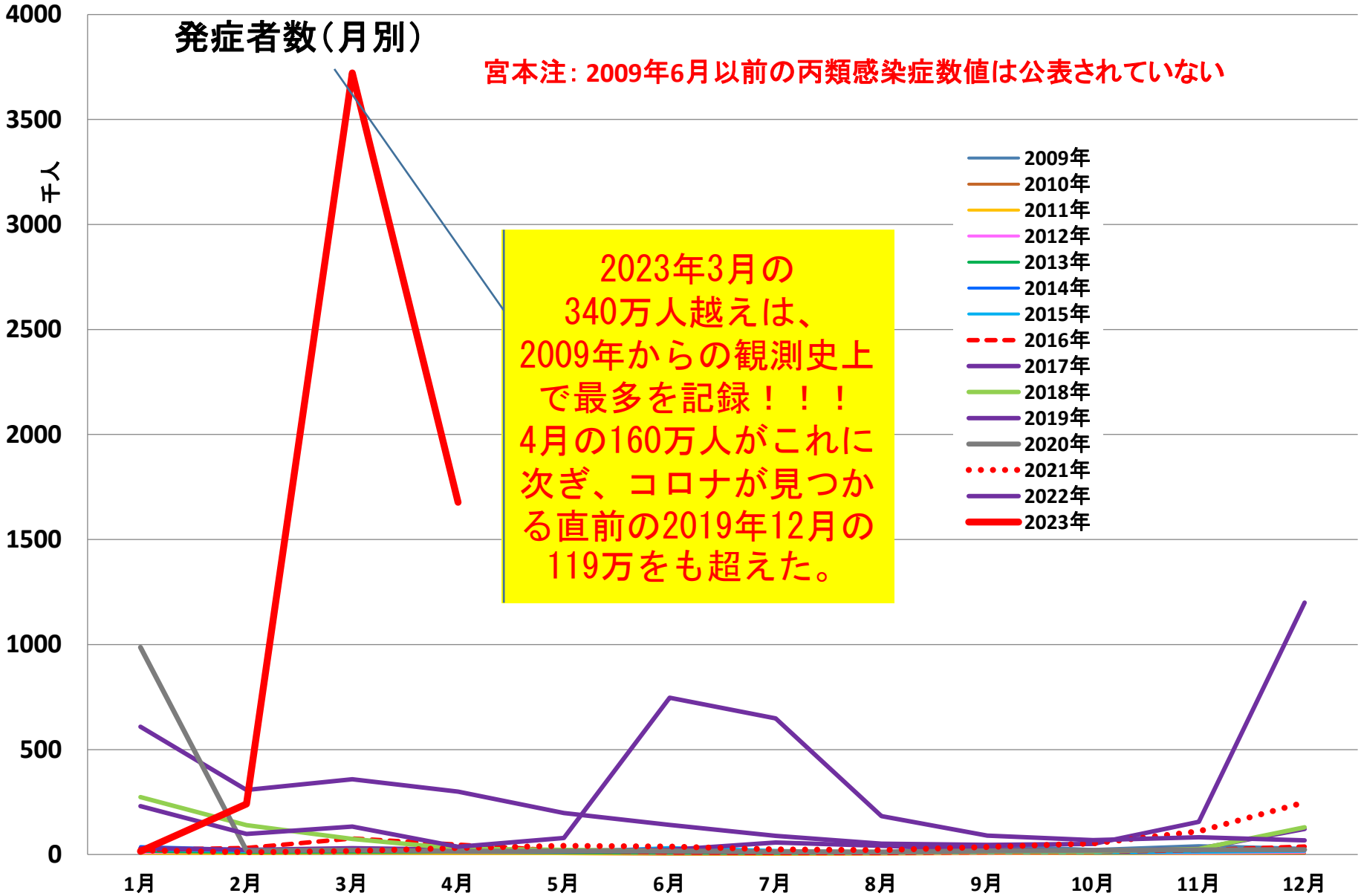
突然爆増する中国のインフル

2008年からこれまでの追跡の中では、
年間4万人（2009年）から350万人（2019年）までと振幅が
大きいが、コロナが見つかる前年12月の爆増以外にも
単月で突如爆発するケースが増えている：例としては、
2019年12月に1,199,771人・2020年01月に986,543人、
2022年6月に747,038人、7月に648,465人となり、
（双極性を示すことが多い南方での発症者の影響？）
2023年3月には3,721,370人、4月も1,677,011人と100万人超
（4か月間累計で5,654,338人とこれまでのどの1年分累計を
も上回る）

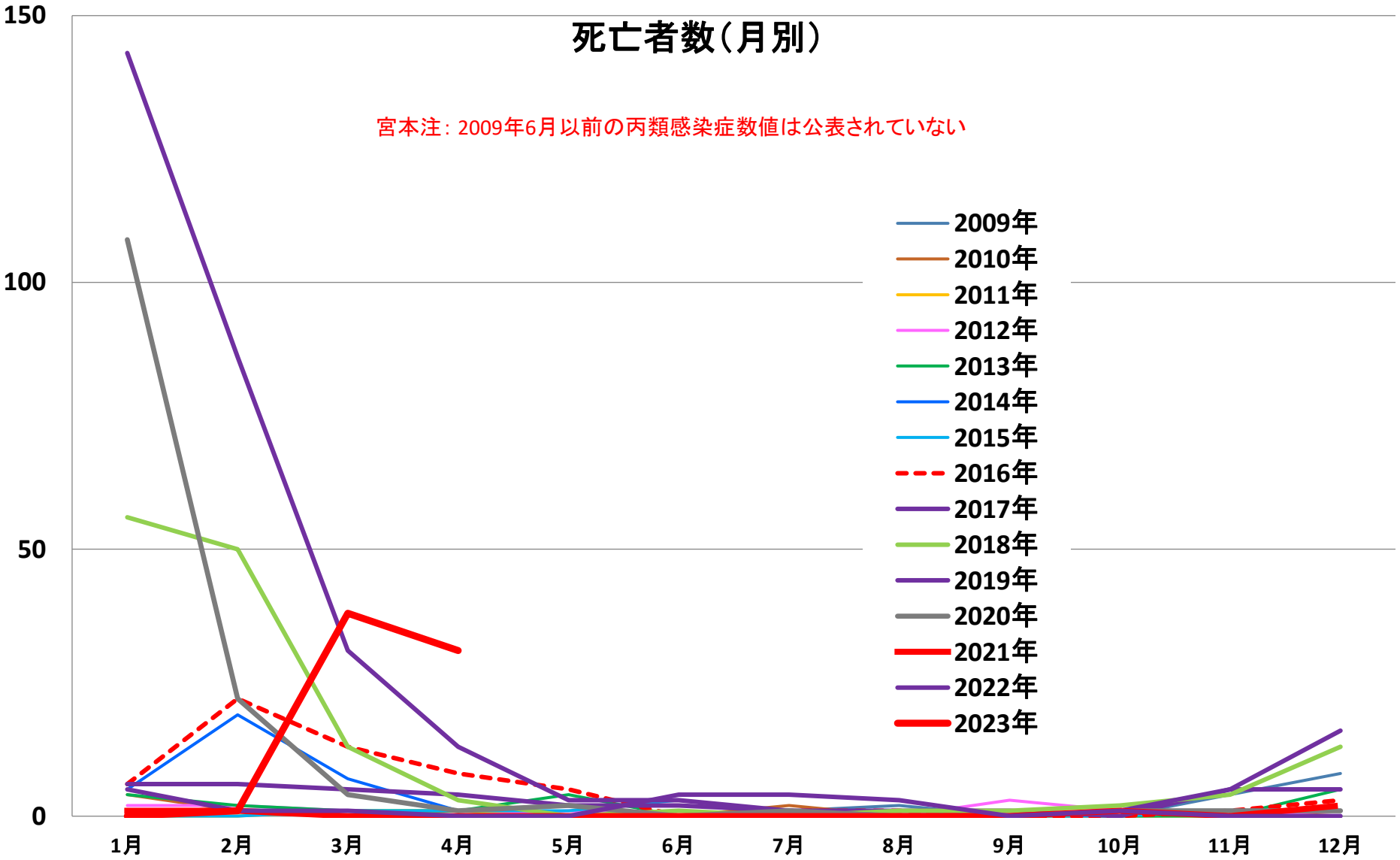
丙01: インフルエンザ発症者数（秋～春）



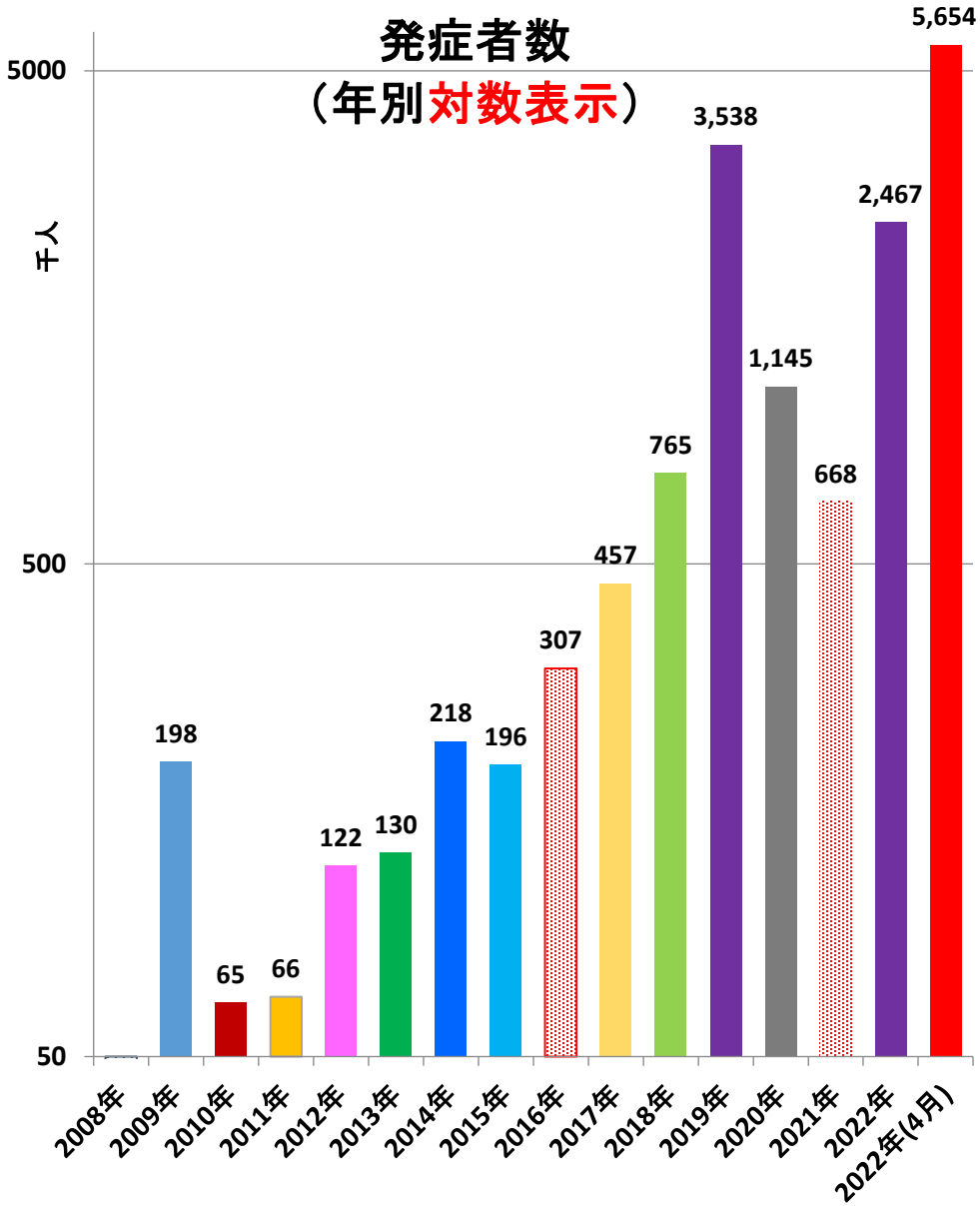
丙01: インフルエンザ発症者数

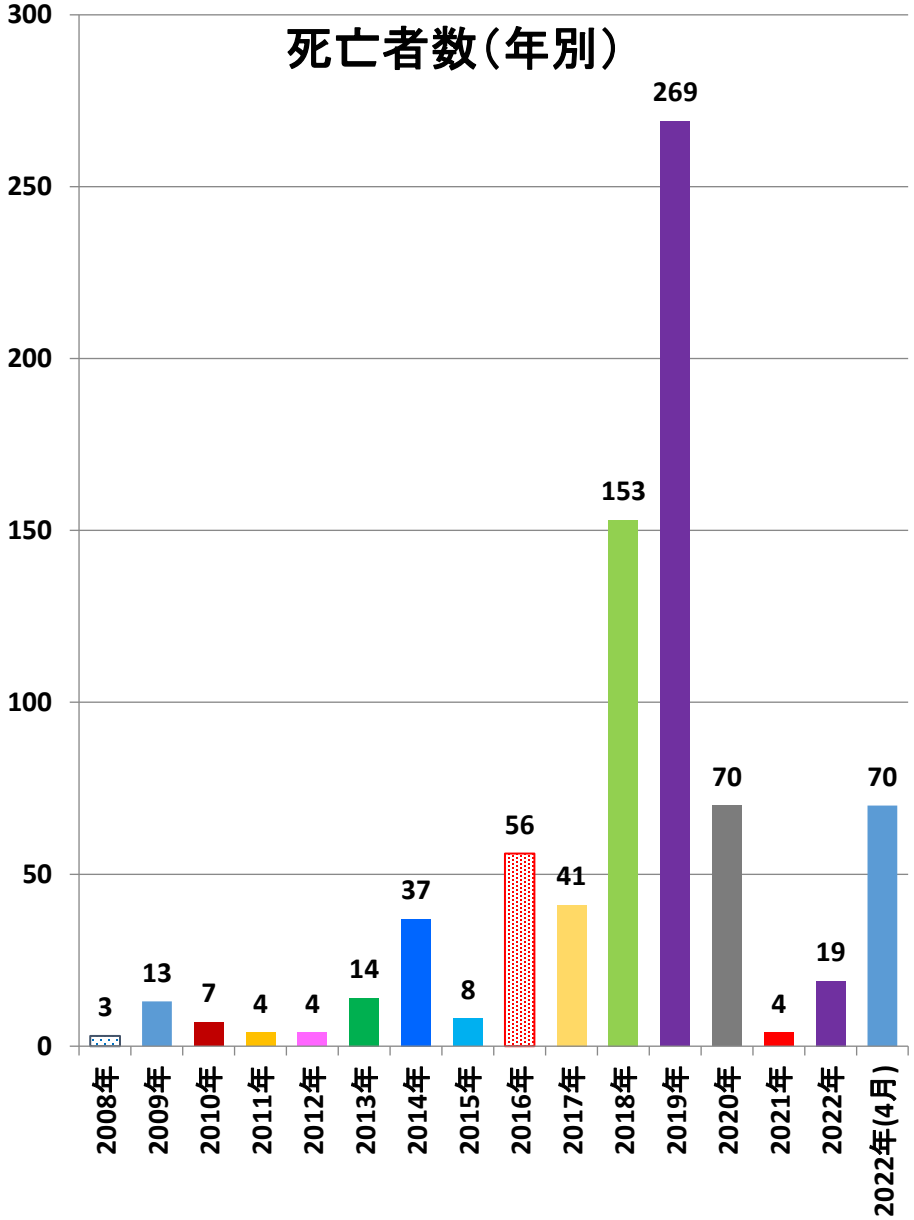


丙01: インフルエンザ死者数



丙01: インフルエンザ


発症者数
（年別対数表示）
千人
5000
500
50
198
65
66
122
130
218
196
307
457
765
3,538
1,145
668
2,467
5,654
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年
2022年(4月)


死亡者数（年別）
300
250
200
150
100
50
0
3
13
7
4
4
14
37
8
56
41
153
269
70
4
19
70
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年
2022年(4月)